

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上中野 (上中野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(具体的に記入してください) 農振農用地外の面積が多く補助金対象外である

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する→(農振農用地外での対応)
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	63 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	63 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者・新規就農者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(具体的に記入してください) 農振農用地外の進め方がわからない
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
	が出来ない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください) 担い手は確保されつつあるが基盤整備が進まない地区(農振農用地外)を負担に感ずる
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	庄林 (庄林)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	53 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	53 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
ドローンの活用	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	太田 (太田)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

農業の担い手については、現在のところ確保はされているが、後継者不在の農業者の高齢化が進むことから新たな農地の担い手を確保する必要がある。
農用地の集積・集約については、約半分の農地の集積の条件が違うことや湿田又は砂利田が多いことなど、農地の集積・集約への障害を解決する必要がある。
圃場については、老朽化した用排水路や農道を整備する必要がある。
その他では、作物の鳥獣被害への鳥獣害の対策や畦畔の草刈りの負担に対する支援など解決する必要がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

農地中間管理機構による農地の賃貸借契約を進めるとともに、農地の基盤整備の実施、農地の集積・集約を進める。
スマート農業の導入や鳥獣被害の防止対策の実施、草刈りなど農作業の一部を農業支援サービス事業者等に委託することで農作業の効率化を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	24 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	24 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針 ある程度農業者に農用地が集積されているが、今後は農用地の集約化を進める必要がある。
(2)農地中間管理機構の活用方針 農地中間管理庫機構への貸し付けに変更し、集約化を進める必要がある。
(3)基盤整備事業への取組方針 基盤整備事業の実施を検討する必要がある。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針 地域計画内での担い手は確保されているが、高齢化・後継者問題など対策が必要である。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 草刈りへの農業支援サービス事業者の活用が必要である。

以下任意記載事項(地域の实情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①鳥獣被害防止対策:イノシシやシカの被害が拡大しないように電気柵を設置するとともに、シカなどの鳥獣の目撃情報があった場合には速やかに行政に連絡し、罾などの設置を依頼する必要がある。
②保全・管理:基盤整備事業が行われる前に老朽化した用排水路や農道の補修等を行う必要がある。

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	大矢戸 (大矢戸)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	33 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	33 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	小矢戸 (小矢戸)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	31 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	31 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 地元農地所有者として対象農地の耕作に関する情報を共有していくため認定農業者の従業員等としてその運営に関与していくことを検討
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	西大月 (西大月)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	19 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	東大月 (東大月)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(具体的に記入してください) (現状)地域内の農地面積の約99%が既に集積集約化されている (課題)今のところ特になし

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください) 農地中間管理機構の活用を継続

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	13 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	13 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(具体的に記入してください) 平成28年度より農地中間管理機構を活用
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	南新在家 (南新在家)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください) 基盤整備事業を検討したいが園芸作物耕作条件がネックになっている

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	56 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	56 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積・集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください) 後継者の育成に取り組む
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	横枕 (横枕)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
○	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	43 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	43 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	堂本 (堂本)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている→(地区外である)
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない→(地区内農家にはいない)
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている→(大変である)
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻→(ハクビシンと共存している)
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める→(進めて欲しい)
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める→(進めて欲しい)
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	17 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	17 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 集積済の農地の集約は難しい。集積は区内農家の離農等により進んでいくと思われる
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 中間管理機構の権限強化、有無を言わせない強い態度
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている→(地区外担い手を頼ります)
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
サービスの内容が知りたい	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	友江 (友江)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	19 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	菖蒲池 (菖蒲池)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	46 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	46 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	乾側 (大門、尾永見、坂戸、花山、下丁、中丁、犬山、上丁、矢)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	247 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	247 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下舌 (下舌)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	65 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	65 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上舌 (上舌)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="checkbox"/>	担い手等が確保されている
<input type="checkbox"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="checkbox"/>	担い手等が高齢化している
<input type="checkbox"/>	担い手等が確保できていない
<input type="checkbox"/>	農業の後継者がいない
<input type="checkbox"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="checkbox"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="checkbox"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="checkbox"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="checkbox"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="checkbox"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="checkbox"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="checkbox"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="checkbox"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください) 用水のパイプライン化

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	40 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	40 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="checkbox"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="checkbox"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="checkbox"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="checkbox"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="checkbox"/>	活用の予定はない
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="checkbox"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="checkbox"/>	基盤整備事業の実施を検討する (一部暗渠排水計画)
<input type="checkbox"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="checkbox"/>	担い手は確保されている
<input type="checkbox"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="checkbox"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	阿難祖地頭方 (阿難祖地頭方)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	50 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	50 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	阿難祖領家 (阿難祖領家)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 令和8年よりパイプライン事業に取りかかる

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	41 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	41 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上黒谷 (上黒谷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策を実施するしている
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	29 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	29 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け済み
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上荒井 (上荒井)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	5 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	5 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	深井、飯降、鍛掛 (深井、飯降、鍛掛)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	55 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	55 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	右近次郎 (右近次郎)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(具体的に記入してください) 小規模でもやろうと思う人でも今の金ではやっていけない

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください) 基盤整備が出来ないところがあり誰もが受け手がない

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	36 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	36 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) 集約済み
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない→(今のところ整備済み)
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	大西出 (大西出)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	33 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	33 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	離農する際には市やJAに相談し、担い手に集積していく
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	中西出 (中西出)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	27 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	27 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	中村町 (中村町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻→(一部の地域)
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善するして欲しい
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	52 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	52 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されているされる途中
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進めるになりつつある
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う行ってほしい
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 担い手が確保(少数)されていない農家ばかりで、認定農業者に集まりつつある
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	荒子町 (荒子町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください) 各農家の農地がバラバラで集約は出来ない

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	15 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	15 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) 各農家がそれぞれ貸付している
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(具体的に記入してください) 各農家で法人なり農業者に貸し付けを始めている
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている(一部農地)
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	木本領家 (木本領家)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
○	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	63 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	63 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) 現在の2経営体を3経営体にして集積する
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
ドローン	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	西山 (西山)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他 農地を預けてしまった地主は作業等をしなくなり、地域が守れなくなる 小規模農家に対する支援が必要 耕作している農家は、農業が好きでやっている

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください) 地域計画というものをきっかけに次の世代に向けて話し合ってみる

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	72 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	72 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他 生産組合と認定農業者2名を中心に検討する
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(未定)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他 生産組合と認定農業者2名を中心に検討する
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	平沢 (平沢)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	56 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	56 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている(今のところ)
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	今井 (今井)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	48 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	48 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	佐開 (佐開)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	39 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	39 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) 生産組合により集約されている
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上五条方 (上五条方)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	26 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	26 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下五条方 (下五条方)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	39 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	39 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(具体的に記入してください) 集落として意思統一はしていない
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください) 農地所有者の方針の把握が充分行えていない
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	野中 (野中)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	22 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	22 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
○	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	稲郷 (稲郷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	76 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	76 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け済み
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上据 (上据)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	43 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	43 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	東山 (東山)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	28 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	28 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(活用を検討する)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	御給 (御給)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	52 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	52 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください) 認定農業者と個人の二本立てで対応する
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	開発 (開発)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	25 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	25 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
農地を中間管理機構に貸し付けるのは良い事であるが、農地の管理【草刈り、用排水路の管理(泥上げ等)、用水路(用水組合の費用)】等が地主負担になっているので中間管理機構にお願いしたい。	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	森政地頭 (森政地頭)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	17 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	17 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	森政領家 (森政領家)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	52 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	52 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	医王寺 (医王寺)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	33 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	33 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(認定農業者や農地中間管理機構と連携し担い手を確保していく)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下郷 (下郷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	14 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	14 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	猪島 (猪島)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	25 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	25 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(具体的に記入してください) 当面は活用の予定がない
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	北御門 (北御門)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	26 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	26 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	吉 (吉)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
○	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	35 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	35 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
○	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	蕨生西 (蕨生西)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	62 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	62 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上唯野 (蕨生東)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	43 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	43 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	中休 (蕨生東)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	66 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	66 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下唯野 (下唯野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	68 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	68 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="checkbox"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="checkbox"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input checked="" type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="checkbox"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input checked="" type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="checkbox"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input checked="" type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="checkbox"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="checkbox"/>	担い手は確保されている
<input checked="" type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="checkbox"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	土打 (土打)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
<input type="radio"/>	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
<input type="radio"/>	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	65 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	65 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
<input type="radio"/>	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
<input type="radio"/>	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(活用を検討する)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
<input type="radio"/>	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
<input type="radio"/>	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	上野 (上野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
○	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	64 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	64 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	新田 (新田)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(具体的に記入してください) 本年度より全世帯が認定農業者に委託

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める(集積・集約済み)
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	17 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	17 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	新河原 (新河原)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
○	担い手等が確保できていない（このままでは高齢等により確保できなくなる恐れがある）
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
○	基盤整備事業により耕作条件を改善する（費用がかからなければ）
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	40 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	40 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する（費用次第）
	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
数年先の担い手が不安であり、紹介してほしい	

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	土布子 (土布子)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
○	その他(具体的に記入してください) 今後も7名ほどが農業を続けると思われるが、高齢化等によりできなくなれば、地区外の認定農業者へ委託することになる

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
○	その他(具体的に記入してください) できなくなれば、地区外の認定農業者へ委託する

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	12 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	12 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) できなくなれば、地区外の認定農業者へ委託する
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください) なし
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
なし	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	下麻生島 (下麻生島)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない（生産者もいる）
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	122 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	122 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	川上 (川上)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	33 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	33 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(今後検討)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	田野 (田野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
○	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	66 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	66 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
○	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	井ノ口 (井ノ口)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	38 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	38 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください) 現在、7件の農家が生産しているが10年以内には全て離農し認定農業者に依頼予定である
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	塚原 (塚原)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

<input type="radio"/>	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	63 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	63 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
<input type="radio"/>	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	富塚 (富塚)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	27 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	27 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	伏石 (伏石)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	24 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	24 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	柿ヶ嶋 (柿ヶ嶋)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	45 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	45 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
<input type="radio"/>	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
電気柵の設置、回収作業	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	八町 (八町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	19 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(今後検討)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	森本 (森本)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

○	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	23 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	23 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
○	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	花房 (花房)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	18 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	18 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	不動堂 (不動堂)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策の実施が必要
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	41 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	41 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他 担い手が高齢化しており、できなくなったときにどうするか検討が必要
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(今後検討)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	石谷 (石谷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<input type="radio"/>	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	14 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	14 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
<input type="radio"/>	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
<input type="radio"/>	その他(今後検討)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
<input type="radio"/>	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	大月 (大月)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	10 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	10 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
○	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(具体的に記入してください) 全戸加入の大月生産組合の集約面積を拡大していく
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください) 大月生産組合としての生産活動は担い手が確保されている
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	橋爪 (橋爪)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
○	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	35 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	35 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
○	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	養道 (養道)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
○	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	38 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	38 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
○	その他(今後検討する)
(2)農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
○	その他(今後検討する)
(3)基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
	基盤整備事業の実施予定はない
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
○	その他(具体的に記入してください) 現在集落外の認定農業者に委託しているが、今後も引き受けてもらえるか心配である
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	
農地、畦畔等の草刈り	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	落合 (落合)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
○	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
○	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
○	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	6 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
○	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	堂島 (堂島)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
○	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
○	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

○	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	14 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	14 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	小黑見 (小黑見)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
○	担い手等が高齢化している
	担い手等が確保できていない
	農業の後継者がいない
	耕作条件が悪い農地がある
	畦畔や水路等の管理が負担となっている
○	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
○	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
○	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
○	鳥獣被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	4 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
○	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
	その他(具体的に記入してください)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
○	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
○	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
	担い手は確保されている
○	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	

農第D18021号
令和6年8月26日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

大野市長 石山志保

市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	南六呂師 (南六呂師、砦)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 7月 30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

	担い手等が確保されている
<input type="radio"/>	担い手等は確保されているが、一部の農地で確保されていない
<input type="radio"/>	担い手等が高齢化している
<input type="radio"/>	担い手等が確保できていない
<input type="radio"/>	農業の後継者がいない
<input type="radio"/>	耕作条件が悪い農地がある
<input type="radio"/>	畦畔や水路等の管理が負担となっている
<input type="radio"/>	高齢化等により、農地の遊休化が心配される
<input type="radio"/>	鳥獣の被害が深刻
	その他(具体的に記入してください)

(2) 地域における農業の将来の在り方

	農地の集積・集約化を進める
	農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める
	効率よく耕作できるよう、農地の集約を検討する
	基盤整備事業により耕作条件を改善する
<input type="radio"/>	鳥獣害被害防止対策を実施する
	その他(具体的に記入してください)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	62 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	62 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地とする。住宅地又は林地と間にある農地は保全・管理を行う区域とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針	
	既に認定農業者等に集積・集約化されている
	認定農業者等に集積されているが、今後は集約を進める
	認定農業者等を中心に、農地の集積・集約を進める
<input type="radio"/>	その他(今後検討)
(2) 農地中間管理機構の活用方針	
	農地中間管理機構に貸し付け、集約化を進める
<input type="radio"/>	活用の予定はない
	その他(具体的に記入してください)
(3) 基盤整備事業への取組方針	
	基盤整備事業による農地の整備を行う
	基盤整備事業の実施を検討する
<input type="radio"/>	基盤整備事業の実施予定はない
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針	
<input type="radio"/>	担い手は確保されている
	県・市・JAと連携し、担い手が確保されるよう取り組む
	その他(具体的に記入してください)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針	